

上山小校区

第10回目

介護予防と生活支援の語らん場

作成：中央部地域包括支援センター 生活支援コーディネーター 岩田 明子

上山小校区語らん場を開催しましたので、報告します！

開催日時：令和4年7月27日（水） 13:30～14:40

会場：社会福祉会館 多目的ホール 参加人数：29名

今回のテーマ

今できている活動を共有し、今必要な取り組みを考える



活動報告

取り組みが進んだ町について紹介しました！

新道町（班長会でミニ語らん場開催）

前回の語らん場での意見「地域住民の顔がわからないので、新・旧役員会の機会に情報収集をする」が実際の取り組みに繋がりました！

3月26日に**新旧班長会でミニ語らん場を開催**

①生活支援コーディネーターより語らん場についての説明

②自治会長より

新道町の悩み（集まって話をする場がない、民生委員の後任が見つからない）

強み（老人クラブやサロンの活動がある、実守りの会で見守りをしている）

班長さんをお願いしたいこと（高齢者の様子を見てもらいたい）

西小路町老人クラブ（コロナ禍でも活動を継続中）

コロナ禍でも毎月の定例会は休まず活動を継続中

老人クラブ会長より「休みにするとそのままずっと休みになってしまう。

どうすればできるか探ることが大事。」

老人クラブ会長が語らん場当日のこの発表のために資料も準備してくださいました！

原口町（かたらんば原口（毎月の活動を継続中）

語らん場をきっかけに始まった活動。**町内の各種団体（自治会、民生委員、老人クラブ等）が毎月公民館に集まり話し合いを実施**しています。

コロナ禍でもほとんど休まず活動を継続中

コロナの状況を見ながら、高齢者宅の訪問を実施。

グループワーク

コロナ禍だからこそ、**人と人の繋がりが大事!**

上山小校区は、地域の行事など人との交流・繋がりを大事にしてきた地域。新型コロナウイルス感染症と付き合いながら、取り組みを続けていく方法を町ごとに話し合いを行いました。



まずは個人で
ワークシートに記入

ボードに貼り、
皆で共有



今後の町の
取り組みについて
話し合い



グループワーク発表

新道町	現在の団体の活動を維持したい。後継者のために 若い世代を取り込みたい 。複数でお誘いしてみよう。
宇都町	集まって話す場がこの語らん場しかない。今後は 自治会、民生委員、老人会の会議に参加できる時には参加したい 。
上野町	健康教室再開 へ向けて、サポートする人を見つけたい。
立石町	高齢者の把握 を班長と一緒に取り組みたい。
西小路町	班長会を充実させたい。 各団体との交流、情報共有 をしていきたい。
野中町	今ある活動を大切にしつつ 人数を増やしていきたい 。公民館でできる活動等を検討していきたい。
船越町	自治会で 介護予防 に取り組みたい。自治会長に相談してみよう。
原口町	見守り訪問 は絶やさないようにしたい。 公民館相談窓口 へ相談してもらいたい。
西郷町	参加者なし。今後町単位での語らん場を検討中。



生活支援
コーディネーター
より

コロナの心配がある中での開催でしたが、グループワークでは皆さんが積極的に意見交換をされていました。語らん場以外でも話す場を設けたいという声が多く、今後の上山地区の取り組みが楽しみです。この語らん場で終わらず、地域でもミニ語らん場をすることで増えていくように、皆さんを応援していきたいと思います!!!